

# 第 37 回環境振動シンポジウム

## 環境振動設計指針の策定に向けて

### —設計と計測—

主催：日本建築学会 環境工学委員会 環境振動運営委員会

日時：2019年1月29日（火）13:30～17:30

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

『建築物の振動に関する居住性能評価指針』は、1991年に初版、2004年に改定版が発行され、2018年11月、新たに『建築物の振動に関する居住性能評価規準』としての刊行が予定されている。これらは多くの設計者に振動環境評価の拠り所を与え、建築物の振動環境向上に大きく貢献してきた。環境振動運営委員会では、現在、設計指針の策定を進めており、ここ数年の環境振動シンポジウム、大会 PD において報告し、会員から広く意見を募ってきた。前々回のシンポジウムでは、特に、性能マトリクスを用いた環境振動設計を中心に、風・歩行・交通振動を例として評価規準および設計指針の位置づけを提示して改定案の内容について報告した。今回は前回に引き続き環境振動設計指針に掲載する設計フロー、性能確認（計測）に関する進捗状況を報告するとともに、具体的な設計例を中心として、広く会員からの意見を募り、反映させることを目的としている。

#### <プログラム（予定）>

司会：富田隆太（日本大学）、増田圭司（フジタ）

1. 主旨説明	国松直（産業技術総合研究所）	13:30～13:40
2. 設計指針の概要と設計例について		
2.1 設計指針概要	濱本卓司（東京都市大学）	13:40～14:00
2.2 自然振動源（風など）に対する設計例	小田島暢之（竹中工務店）	14:00～14:30
2.3 内部振動源（歩行など）に対する設計例	山中祐一（JRE 設計）	14:30～15:00
2.4 外部振動源（道路交通など）に対する設計例	原田浩之（三井住友建設）	15:10～15:40
2.5 建物性能確認のための計測例	崔井圭（レトロフィットジャパン協会）	15:40～16:00
3. 居住性能評価のための計測例	富田隆太（日本大学）	16:00～16:25
4. パネルディスカッション	コーディネータ：鈴木雅靖（鹿島建設）	16:30～17:20
5. まとめ	峯村敦雄（鹿島建設）	17:20～17:30

参加費：会員 3,000 円、会員外 4,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：150 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615517> よりお申し込みください

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬

TEL 03-3456-2051 E-mail : [ichinose@aij.or.jp](mailto:ichinose@aij.or.jp)

※別途有料にて、リアルタイム動画配信を実施します（動画配信申込み締切 1 月 22 日）

動画配信申込み詳細 <https://www.aij.or.jp/event/list.html?categoryId=2>